

2023.12

Vol.124

にいだがわつうしん

新田川通信

発行元：(有)佐藤建業

南相馬市原町区北新田字広田170

Tel：(0244) 22-7619

Mail：info@sato-kengyo.jp

https://www.sato-kengyo.jp



今 新田川では 新堤



ここは上北高平字入道迫にある「新堤」です。今日、水面は穏やかで水を満々と湛えています。貯水量は50,000m³。鹿島カントリー倶楽部さんの入口近くに位置します。奥に広く、変型したひし形のような形です。土手はきれいに草刈りされ、そのあとに季節の花々が咲いていました。すぐ近くには「古堤」。こちらの貯水量は62,000m³があります。先に出来ていた堤に対し、後に出来た堤が新堤と命名されました。古堤はそれまで名前がなかったのかしらね。どちらも、下流水域の灌漑に大きく貢献しているのでしょうね。



「ニシキギ」
きれいに紅葉
していました。



「ツリガネニンジン」



「アザミ」



吐水口



ゴミを捨ててはいけません(ゴミ)

大工さん 今日とはどんなお仕事？



今回は耐震改修です。強度が不足している壁を、金物と耐震ボードで補強してお家が地震に耐えられるようにします！



小さな金具もしっかり取り付けます。耐震は、全てに優先します(´・ω・´)



内壁の耐震補強ができる金物。その名も「てもとせーこ」



金物を取り付けした後、耐震ボードを貼付けていきます。その名も「かべつよし」



今年も一年ご愛顧ありがとうございました。今年も引き続き昨年の災害復旧からスタートし、新築、リフォーム、耐震診断・改修と、沢山の工事を頂き、お待たせしましたお客様のご理解に感謝申し上げます。この一年で弊社スタッフも増え、2024年はお客様の夢のマイホームづくりとお宅のメンテナンスにまい進して参ります。来る年は皆様に笑顔が多い一年になりますようにお祈りいたします。

代表取締役社長 佐藤 哲信

本年もありがとうございました！



↑佐藤建業で芋煮会をした時の写真です。(ご家族も参加してます♪) 写真に入っていないメンバーもいますが、全員元気です(*'▽')

《大工さんのアイテム》

水糸 (みずいと)

水糸とは、大工工事で水平線を示すために使用する糸。「水縄(みずなわ)」とも呼ばれます。

木材などに墨で直線を印しておくための「墨壺」とは違い、空中に水糸を張っておき、通りを確認するのが目的です。主に外構工事で使う事が多く、地面を掘削したり土を盛る時などに水平を示すのに使用します。

また、ブロックやレンガを真っすぐ並べるのにも用います。糸は見えやすいように、蛍光色の黄色やピンク色が一般的。糸を張る時は、たるんだり、風でなびいたりしないようにピンと強く張るのがコツ。

…さて、なぜ“水”糸なのか？

それは、「サイフォンの原理」で水を使って水平線を出せるからです。透明なチューブに水を入れ、右図のように水平を出す「水盛り」という方法があるので、水糸なんですね。



これは公園の階段を施工しているところです。勾配がある場所では、水糸を斜めに張ることで、階段が一定の勾配で一直線になるように確認しながら設置していきます。



こうやって糸が巻かれています

子育てエコホーム支援事業のお知らせ

子育て世帯・若者夫婦世帯による高い省エネ性能を有する新築住宅の取得や住宅の省エネ改修等に対して支援が受けられます。

※子育て世帯：18歳未満の子を有する世帯

若者夫婦世帯：夫婦のいずれかが39歳以下の世帯

【補助対象】 高い省エネ性能を有する住宅の新築、一定のリフォーム

●子育て世帯・若者夫婦世帯による住宅の新築

①長期優良住宅 …100万円/戸

②ZEH住宅 …80万円/戸

●住宅のリフォーム

①住宅の省エネ改修

②住宅の子育て対応改修、バリアフリー改修、
空気清浄機能・換気機能付きエアコン設置工事等
(①の工事を行った場合に限る)

リフォーム工事内容に応じ

・子育て世帯、若者夫婦世帯 …上限30万円/戸

・その他世帯…上限20万円/戸

※その他諸条件あり。詳しくは国土交通省(03-5253-8111)にご確認ください。



売地



↑↑↑売地のご紹介です！

■場所：原町区高倉字志津128-3 (仲介物件)

■価格：220万円

■面積：260.12㎡

■地目：宅地

■学区：南相馬市立石神第二小学校

■その他、詳しくは佐藤建業(0244-22-7619)

までお問い合わせください(^^)

リンリンリン リンリンリン



大人も子供もワクワクするクリスマスがもうすぐやってきます！

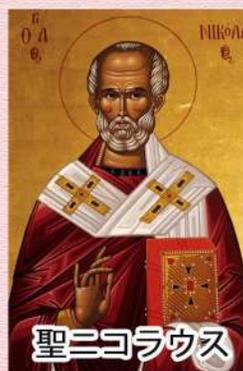
そこで、意外と知らないサンタクロースの起源を探ってみました(^^)/

サンタクロース

サンタクロースは、紀元270年頃の東ローマ帝国の小アジア(今のトルコあたり)の司教だったニコラウスの逸話が元とされています。彼は普段から、貧しい人たちを助ける心優しい人でした。ある日、貧しさのせいで3人の娘を身売りさせることになった家庭があることを知ったニコラウスは、夜中にその家の煙突から金貨を投げ入れました。

その家では、ちょうど靴下を暖炉のところに干していたため、彼が投げ入れた金貨が偶然、靴下に入りました。

その金貨のおかげで、3人の娘は身売りをせずに済みました。



聖ニコラウス

この話が元になって、煙突から入って靴下にプレゼントを入れていく「サンタクロース」が誕生しました。

因みに、サンタクロースの名前は、聖(セント)ニコラウスをオランダ語で読んだ時の「シンタクラース」が訛って「サンタクロース」になったと言われているそうです。

～サンタの衣装の色はなぜ赤い？～

サンタクロースが誕生した当初は青や紫、イギリスでは緑などでした。国や地域で様々な色や姿だったそうです。

それが「1931年、コカ・●ーラ社(伏字)が宣伝のために、画家のサンドブロンに描かせたサンタクロースが現代サンタとして定着した」…という説が今でもよく聞かれます。

しかし、実はどうも違うようなのです。

カトリック教会では、聖人のための祝日は赤い司祭服を着ることから、徐々に「サンタクロース=白髭で赤い服」という描かれ方が主流になっていき1900年頃には現代サンタと変わらない姿になりました。

日本でも1914年の雑誌「子供之友」にて、赤い服のサンタが登場しています→



なるほど、なるほど…そうだったのかあ(..)φメモメモ